

足立敏之前国土交通省技監の支援決定

(理事会)

9月14日に開催した理事会で、来夏に行われる参議院選挙(比例代表)の候補者として、足立敏之前国土交通省技監を支援することを決めました。則久会長が足立前技監に推薦状を手渡しました。



現場見学会開催

(九州支部)

各地でPC建協支部が主催した、現場見学会が開催されました。このうち九州支部では、11月29日に石崎町内自治会(近隣住民)の方々を対象とした現場見学会を開催しました。

見学会には50名の参加があり、建設中の神代橋(オリエンタル白石(株)施工 PC5径間連続箱桁橋 2工区工事延長193.1m)を見学しました。事業者の福岡県久留米県土整備事務所より事業説明を支部施工部会より工事概要説明を行い、参加者からは事業、施工に関する様々な質問がありました。また、完成後は町の利便性が向上するため、完成を待ち望む声が多くの見学者から聞かれました。



神代橋見学会説明会の様子

開催日	支部名	現場名	対象者	参加数
9月29日	北陸	勝山インター橋、十郷橋(日本で最初のボステンPC橋)	金沢大学2年生	18
10月15日	関西	新名神 忍頂寺高架橋・佐保川橋	大阪府池田土木事務所	13
11月2日	北陸	勝山インター橋、えちぜん鉄道のASR損傷橋梁	金沢大学大学院1年生、学部4年生	9
11月5日	中部	東海北陸道 施工現場	名古屋大学、岐阜大学、関西大学、名古屋高速道路公社、東海旅客鉄道ほか	14
11月7日	中国	江津PC工場(極東興和)、西村高架橋	広島工業大学	50
11月16日	四国	銚子大橋	建設コンサルタント協会 42名 愛媛県 12名	54
11月29日	九州	県道久留米筑紫野線神代橋	近隣住民	50

PC技術専門家を派遣

(四国支部)

PC建協では、多くの学生にPCに対し興味を持ってもらう事を目的とした講座を開催しております。

四国支部では、平成27年11月17日に香川大学工学部において、工学部(複合学科)の学生40名余りを対象に「土木の魅力について」と題して①PC建協の紹介やPC業界から見た土木について②やさしいPC橋の設計など初歩のPC技術を紹介する講義を行いました。最後に橋梁現場担当者から生の声を届け、講義を終えました。

各支部においても同様にPC技術専門家を派遣し、講座を開催しております。



PC技術講習会開催

(中国支部)

(社)建設コンサルタント協会とPC建協中国支部の共同開催で、PC技術講習会が平成27年10月30日にホテル広島ガーデンパレスで開催されました。

この講習会は、PC橋の設計者と施工者が、PC橋の設計・施工、維持管理について意見交換することを目的としたもので、コンサルタント会社を中心とした19社約50名の参加がありました。

講習の内容は次の通りです。

- PC技術の最近の動向
- PC橋の施工技術・積算に関する話題
- PC橋の設計・施工事例に関する話題
- PC橋の補修・補強技術

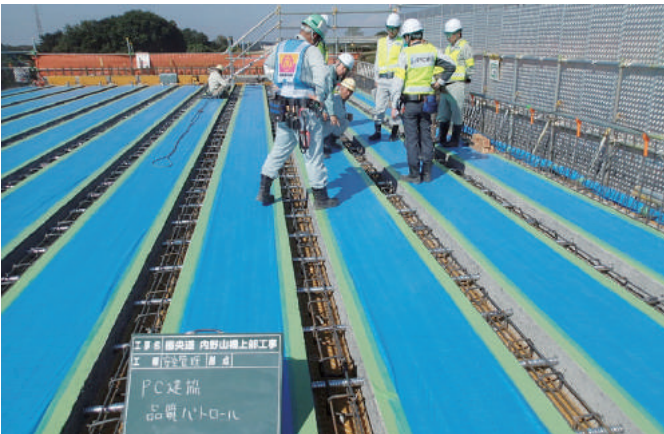


グラウト診断・品質診断パトロールを実施

(関東支部)

PC建協関東支部では、8月25日と10月28日に、PC建協本部施工部会と合同で、圏央道の5橋の現場においてグラウト診断・品質診断パトロールを実施しました。

グラウト診断では、グラウト診断パトロールチェックリスト表を用いて品質確認を行い、品質診断では、コンクリート、鉄筋、PC緊張管理の各項目について、品質パトロールチェックリスト表を用いて品質を確認しています。



品質診断 圏央道内野山橋上部工事

● 8月25日

「圏央道菅谷地区跨道橋上部工事」：当日グラウト作業に立ち会い、グラウト診断、品質診断

「圏央道坂東弓田地区跨道橋上部その2工事」：品質診断

● 10月28日

「圏央道つくば真岡線跨道橋上部工事」：品質診断

「圏央道内野山橋上部工事」：品質診断

「圏央道大生郷橋上部工事」：グラウト診断、品質診断



グラウト診断 圏央道大生郷橋上部工事

平成27年度 優秀施工者、建設産業人材確保・育成対策顕彰式典開催

平成27年10月9日、東京都港区メルパルクホールにて、平成27年度 優秀施工者、建設産業人材確保・育成対策顕彰式典が開催されました。

式典では、国土交通大臣より建設マスターの406名が、土地・建設産業局長より建設ジュニアマスターの110名が、顕彰されました。

PC建協からは、建設マスターを4名、建設ジュニアマスターを2名、合計6名を推薦し、全員が選ばれました。



平成27年度建設ジュニアマスター

氏名	年齢	所属会社	推薦会社
岡元 博	39	(株)西和工務店	三井住友建設(株)
林 正明	36	(株)岩永建設	川田建設(株)

平成27年度建設マスター

氏名	年齢	所属会社	推薦会社
武田 努	41	北川工業(株)	ドーピー建設工業(株)
濱田 正	53	(株)亀田組	(株)ピーエス三菱
林 敏洋	45	(株)カイセイ	(株)IHIインフラ建設
真島 秀夫	47	(株)国土	(株)安部日鋼工業

なお、顕彰者は次に示す通りです。

第25回世界道路会議 PIARC2015 ソウル大会

(国際対応小委員会)

韓国ソウル市にて2015年11月2～6日にPIARC (World Road Association; 旧称 Permanent International Association of Road Congresses) の第25回世界道路会議が開催され、PC建協からは日本合同ブースへ出展しました。本国際大会には世界各国114カ国より48名の大臣・副大臣を含む2600名以上の方々が参加し、道路分野の既存の技術や将来への挑戦技術について研究発表・討論・展示がなされました。11月3日に開催された日本館オープニングセレモニーには、土井国土交通副大臣並びに菊川PIARC実行委員代表も出席され、日本国の今後のインフラ整備について紹介がありました。軽食も用意され榊酒のふるまいにより乾杯を行い、書道家による大筆書き1文字パフォーマンスも開催されました。113グループ(出展国はメキシコ、韓国、ドイツ、イタリア、スペイン、マレーシア、スイス、モロッコ、フランス、UAE、イギリス、南アフリカ、ロシア、日本、サウジアラビア、中国、オーストラリア、デンマーク、カナダ、アメリカ)、202団体が展示会場で技術紹介を行いました。



展示会場



日本ブース



PC展示物説明状況

日本合同ブースは、国土交通省、日本道路協会、NEXCO各社、ゼネコン、コンサルタント、PC建協等より35団体が出展し、PC建協はフライアッシュコンクリートやプレキャストプレストレストコンクリート等のパネル展示と、パンフレットの配布、及びPC建協の業務内容の説明や地震津波に耐えたPC構造物の紹介や会員企業のPC橋梁の施工実績などをアピールしたビデオを展示しました。

次回の第26回は、2019年にアブダビ首長国で開催の予定です。

編集委員会

上野 進一郎(編集委員長)、 櫻福 浄(編集副委員長)、
竹本 伸一、 有馬 浩史、 鈴木 義晃、 的場 純一、
高松 正伸、 松嶋 憲昭、 小山 康寛

編集幹事会

手賀 由成(幹事長)、 廣部 永隆(副幹事長)、 白石 紀之、 水谷 義弘、
俵 綾子、 南 浩郎、 浅見 聡、 大谷 圭介、 吉田 健治、 太田 誠、
清水 郁子、 荒畑 智志、 西永 卓司

編集後記

旅の舞台は、2016年のサミット開催地に決定した「伊勢志摩」地域です。世界遺産である熊野古道と並走・交錯しながら延びる熊野尾鷲道路と紀勢自動車道は、多くのPC橋が点在する現代の「伊勢路」。読者の皆様には、志摩半島の自然と伊勢の文化に触れる旅の途中で、ガイドブックにはないPC構造物のストーリーに思いをはせ、一味違う思い出の1ページを作っていただければ幸いです。

特別企画では、国土交通省の池田技術審議官に生産性向上の取組に関する貴重なご意見をお話いただきました。PC建協の取組と合わせ、皆様のくらしの安心・安全を守るPC技術の未来にご期待ください。(俵)